

第3期中期目標期間の業務の実績に関する評価結果の反映状況について

【価値目標】：県が法人に期待する目標（＝中期目標）
 【実現目標】：価値目標を達成するために法人が目指すべき目標・評価指標

第3期中期目標期間の業務の実績に関する評価結果の反映状況は以下のとおりです。

分野	中期計画	実現目標／実績	評価結果（課題）	評価結果の反映状況
地域貢献（教育）	【価値目標】 1 医師・看護師・保健師の県内定着			
	保健師課程履修学生の県内就業者を確保するため、県・市町村との連携のもと、県内保健師として就業する意欲を向上させるような、講義、実習を充実	看護学科卒業生の保健師県内就業者数の増加 【第3期期間平均】 6人 【実績】 3.7人 ※既卒者を含む場合は 5.8人	卒業後に看護師を経験してから保健師になることを希望する者がいることを考慮し、既卒者も含めた保健師の県内就業率を調査したところ、目標値は概ね達成することができているが、令和2年度から令和4年度まで新型コロナウイルス感染症の影響で保健所実習は学内実習としていたこともあり、看護学科卒業生の保健師県内就業者数の増加目標の達成には至らなかった。	第3期において病院勤務を経験してから保健師になることを希望する者がいること、また保健所等においても病院看護師経験者を採用する傾向があることから、看護学科卒業生の保健師県内就業者数については第4期では目標設定は行わず、実績の推移を追う中期計画の参考指標としている。なお、保健師も含めた県内就業者を増やすために、地域医療に対する意識涵養のため看護学科の4年一貫教育カリキュラム「地域基盤型医療教育プログラム」において「奈良学（文化、歴史、自然などを通じて「奈良」への理解を深めるとともに、県内病院見学実習により奈良県の医療状況を知る）」などの実施により地域医療を支える人材養成を行うこととしている。
地域貢献（診療）	【価値目標】 7 各領域の担い手となる医療人の育成			
	県内及び全国の医療機関等との連携を進めるとともに質の高い国際水準の臨床研究を実施する体制を整え、臨床研究への支援を進め臨床研究中核病院の承認要件充足に向けた取り組みを実施	臨床研究中核病院の承認を得る 【2024年度目標】 承認取得 【実績】 承認未取得	臨床研究中核病院の承認にかかる施設要件及び人員要件については、令和元年度より継続的に研究支援者を確保し、求められる要件をほぼ充足させたが、研究実績については、研究相談事業や臨床研究経験の少ない診療科への研究実施の働きかけなどを行ったものの、研究成果をあげるまでに時間を要することや、医師の働き方改革により研究のための時間確保が困難になってきたこと等の情勢変化もあり、承認要件の一部が未充足となった。そのため、臨床研究中核病院の承認申請には至らなかった。	臨床研究中核病院の承認取得は引き続き目指すこととしているが、臨床研究そのものを充実させることが重要と考え、臨床研究シーズの探索・把握、研究者に対する相談の支援などを実施することとしている。 <中期計画> 革新的な治療法、治療薬及び機器開発の支援につながる先進的で質の高い臨床研究を実施する体制を強化する。 <ul style="list-style-type: none"> ・臨床研究シーズの探索・把握 ・研究者に対する相談の支援 ・院内外研究機関とのネットワーク強化

分野	中期計画	実現目標／実績	評価結果（課題）	評価結果の反映状況
研究	【価値目標】 1 4 研究推進体制の適正化と強化			
	若手研究者の育成、女性研究者の研究を支援	女性研究者数（医学科女性教員割合）の増加 【2024年度目標】 20% 【実績】 18.7%	女性研究者支援としては、研究支援員配置制度を継続的に実施し、年間8～14名を対象に支援を提供した。支援対象は週5日勤務の医員にも拡大し、ライフイベントや介護と両立しながら研究を継続できる環境整備を進めたが、女性研究者数の増加目標の達成には至らなかった。	男女共同参画の視点から重要な指標であることから、第4期においても中期計画の指標に設定し、引き続き目標達成に向け取り組むこととしている。 <中期計画> 研究者の能力発揮を促進し、若手・女性研究者を育成するため、ハード・ソフト両面の研究支援体制を強化する。 ・URAによる競争的研究費の獲得支援 ・研究計画書等のWEB審査化 ・デジタルリソース整備計画の策定、実行 ・国際的な研究活動の充実 ・大学共通利用機器の計画的整備 ・ライフイベントに配慮した研究活動支援
診療	【価値目標】 1 5 県内基幹病院としての機能の充実			
	県内基幹病院として求められる機能を発揮するため、臨床指標を通じた医療の質の向上、熟練した技術と知識を有する人材の養成及び将来の医療ニーズを踏まえた病院施設整備の取り組みを推進	認定看護師等の増加 【第3期期間目標】 15人 【実績】 10人	特定行為研修修了者等の専門性の高いスキルを有する看護師は、令和6年度には38人（令和元年度：8人）と着実に増えており、認定看護師教育課程への志願者も増加している。一方で、認定看護師の育成を行う教育機関ではカリキュラム改正によって教育機関が年々減少し、それに伴い定員も減少した。その結果、受験倍率の上昇等が要因となり、認定看護師育成に影響が生じ、認定看護師等の増加目標の達成には至らなかった。	認定看護師等の専門性の高いスキルを有する看護師養成は、そのような看護師になろうとする意識を醸成することが重要と考え、第4期においては認定看護師講習受講申込者数を目標とした。なお、認定看護師数については参考指標とし、引き続き増加に向けて取り組むこととしている。 <中期計画> 県内基幹病院としての機能を維持するとともに、県の中核病院としての役割を果たすため、熟練した技術と知識を有する人材の養成及びキャリアアップの支援を推進する。 ・専門的なスキルを有する看護師の育成・活用（特定行為研修修了者、専門看護師、認定看護師等）